



## 大規模災害訓練を行いました。

10月7日、羽島郡広域連合消防本部と合同での大規模災害訓練を笠松みなと公園（災害訓練）と松波総合病院（搬送訓練）にて行いました。今回は乗用車同士の衝突事故が起これ、その弾みで乗用車がイベント会場へ向かっていた歩行者を次々に撥ねて民家へ突っ込んだという想定での訓練。怪我人として役場の方にもご参加いただき、ムラージュという化粧を施し、怪我人の方の見事な演技もあり本番さながらの訓練になりました。いつどんな時にこういった事故や災害が発生しても、訓練を重ねることで冷静に対応することができます。また、問題点もあがりました。この経験を生かし、問題点を解決していき、いざという時に地域に貢献できるように備えていきます。

### 講習会・イベントのご案内

#### 糖尿病教室

#### 平成23年度 秋の特別講演

一般向け

日 時: 11月12日(土) 14:00~15:30  
場 所: 松波総合病院 3階講堂  
テ マ: 『低炭水化物ダイエットの危険性』  
講 師: 松波総合病院 副院長 林 慎先生  
注 意 事 項: 事前申込みや参加費は必要ありません。どなたでもお気軽にご参加下さい。

#### 第65回開放型病床カンファランス

医療関係者向

日 時: 12月2日(金) 20:00~  
場 所: 松波総合病院 3階講堂  
テ マ: 『胸部写真の読影(仮)』  
講 師: 福井大学 名誉教授 特任教授 伊藤 春海先生

#### 第64回 臨床病理検討会(CPC)

医療関係者向

日 時: 11月4日(金) 17:30~19:00  
場 所: 松波総合病院 3F講堂  
注 意 事 項: なお、臨床病理検討会は日時が変更になる可能性があります。出席をご希望の方は一度当院地域医療事業部までご連絡をお願いいたします。

#### がんサボード

医療関係者向

日 時: 毎週木曜日 12:30~13:00  
場 所: 松波総合病院地下1Fカンファンスルーム  
注 意 事 項: なお、がんサボードにご出席の折には当院より軽食もご提供いたします。

### かかりつけ医院のご紹介



## 羽島郡 総合在宅医療クリニック

在宅医療

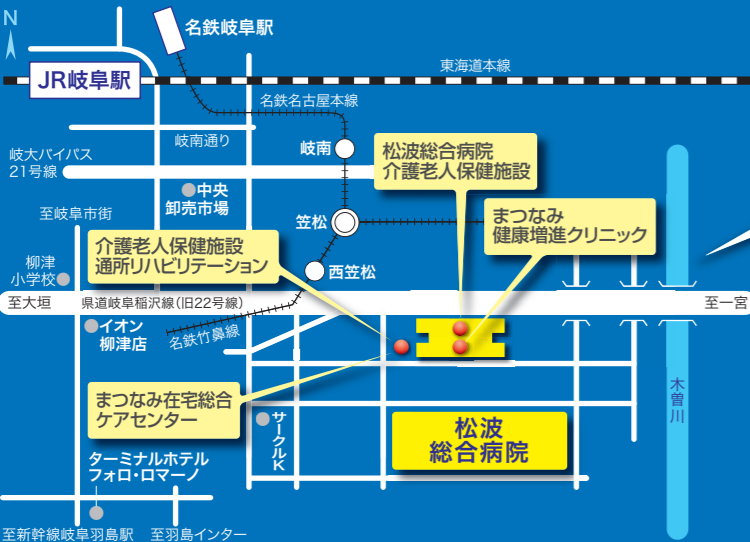
診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~17:00	○	○	○	○	○	—

—: 休診

休診日 日曜日・祝日  
※緊急時対応: 24時間、無休  
〒501-6011  
岐阜県羽島郡岐南町  
八剣北1-180-6  
☎ 058-213-7830  
FAX 058-213-7831

院長: 市橋 亮一

当院は、外来を持たず、在宅医療専門のクリニックとして設立されました。設立から3年が経ち、現在では、医師6名、看護師6名、管理栄養士1名、音楽療法士1名、臨床心理士1名と、多彩な専門家が、様々な視点からチームで在宅医療を行っています。さらに今年10月から訪問看護ステーションがスタートしました。患者さまの希望に添い、安心して在宅生活を送れるよう、お手伝いさせていただきたいと思っております。



お気軽にお問い合わせください。

☎ 058-388-0111  
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



当院は、病院内・敷地内全面禁煙です。皆様方のご理解とご協力をお願いします。

社会医療法人 蘇西厚生会  
松波総合病院 〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

患者さまと  
病院をつなぐ  
かけはし  
No.145  
MATSUNAMI

# まつなみ

2011

11

発行  
社会医療法人  
蘇西厚生会

## 医療最前線

命を支える最新医療



松波DMAT  
始動!!

## 災害医療の最前線に立ち ひとつでも多くの命を助けたい。

松波総合病院は、地震や列車事故などの災害が発生した時の傷病者受入れ医療施設として、日頃から防災対策や訓練に力を注いでいます。そして今年8月には、当院にDMAT隊(災害派遣医療チーム)が誕生。岐阜DMAT指定病院のひとつとして、災害医療機能のさらなる強化・拡充に取り組んでいます。そこで今回は、「日本DMAT隊員養成研修」を終え、隊員としての一步を踏み出した八十川医師、杉原看護師に話を聞きました。



### DMAT研修を終えて

今年6月22日から25日にかけて、兵庫県災害医療センターで開催されたDMAT研修に参加しました。研修には、全国の医療機関から総勢50名が参加。当院からは、八十川雄凶(医師)・朝川英範(医師)・杉原智子(看護師)・大野智子(看護師)・今枝篤希(調整役)の5名が参加して、講義やシミュレーション、グループワーク、実践訓練などを受けてきました。



10月13日、院内で開かれた「DMAT隊員養成研修報告会」では、約100名の職員が参加。隊員の報告を聞きながら、病院としての使命感、日頃の準備と訓練の大切さを再認識しました。

### そもそもDMATってなに?

DMAT(Disaster Medical Assistance Team)は、大地震や航空機・列車事故などが起こったとき、一刻も早く被災地へ駆けつけ、救急治療や災害医療を行うための専門的なトレーニングを受けた医療チーム(医師+看護師+業務調整員)のこと。1995年1月に起きた阪神・淡路大震災をきっかけに、震災直後の「防ぎ得た死」を減らそうと発足したもので、災害現場ではDMATが消防や警察、自衛隊などの関係機関と連携しながら、救助活動と並行して医療活動を行います。日本中を震撼させた3.11の東日本大震災では、3月11日から22日までの間、47都道府県から約340チーム、約1,500人の隊員が被災地で活動を行いました。



気温35度の猛暑と闘いながら、訓練をやりとげました。

### いざという時に備えて、実践さながらの訓練

JR福知山線列車脱線事故の現場写真を見ながら、実際にどんな対応が現場でなされたのかという話を聞いたり、トリアージ(多くの負傷者に効率よく対応するため、どの負傷者を優先して治療するか、どの病院に搬送すべきかを判断する)の仕方やトランシーバの使い方を実習するなど、研修では災害治療に求められる技術や知識を習得。最終日となる4日目は、地元消防隊との合同で、広域医療搬送を想定したSCU(ステージングケアユニット)訓練や、電車の下を潜って被災者を救助する訓練など、実践さながらの訓練を行いました。



電車の下に潜り、被災者を救助する訓練では、あちこちにあざをつくりながら、真っ暗闇の中を必死にほく前進。いや〜大変でした。

### 多くのことを学んだ、充実の4日間

人も、医療資源・機器も、十分とは言えない災害現場で、ひとつでも多くの人命を救うことの難しさややりがいを感じた4日間。被災地での救急医療の実際を学ぶと同時に、非常時における指揮系統の確立や情報連携の重要性、そして何より日頃の準備と訓練がいかに大切かを改めて感じました。また、常に危険と隣り合わせにある被災地で救急治療にあたるDMAT隊員一人ひとりに、的確で迅速な判断力が問われること。また、隊員自身のストレスケアの大切さも知ることができました。今回の研修で得た経験とノウハウは、この地域で災害が起きたときに役立つことはもちろん、院内での医療活動にも大きな力になると考えています。

### そして5人はDMAT隊員に! 万一の

### 大災害に備え、準備と訓練を重ねていきます。

今回の研修を終えて、私たち5人は日本DMAT登録隊員となりました。災害は起こらないことが一番いいのですが、東海地方では、近い将来、高い確率で東海地震や東南海地震が発生すると言われていています。その万一の時には、すぐに災害現場に駆けつけ、人命救助ができるよう、準備と訓練を継続して行っていきたいと思っています。皆さまからの応援、よろしくをお願いします!



我が松波総合病院のDMAT隊員の方々。当院では、さらに2チーム目、3チーム目のDMAT隊員を養成する予定です。(写真左から今枝、杉原、朝川、大野、八十川)



「こんにちは 西7階病棟です。」

## 患者さまを思いやり、支え、励ますことができる看護を。

西7階病棟は、循環器疾患の急性期および、内科の慢性期の患者さまが入院される病床数45床の病棟です。看護師は総勢31名。患者さまの多くは狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全といった循環器疾患で、ほかに検査や治療のための心臓カテー



テルを受ける目的で入院される患者さまが、毎月60人ほどいらっしゃいます。同じフロアには4床のCCUも併設され、急性心筋梗塞や狭心症の集中治療にあたっています。

看護師長 酒井孝則

### 安全を第一に、思いやりのある看護を提供したい。

循環器は、全身の血液を循環させる重要な役割を持っています。重症、急変、緊急入院と一刻を争う現場ですが、だからこそ安全を第一に、「患者さまに入院前の状態で帰っていただく」ことを最大の目標に看護にあたっています。疾患の特徴から救急車で搬送される患者さまも多く、ご家族の動揺や不安も大きくなります。面会にいらしたご家族の方には必ず声をかけ、説明をきちんとするなど、ご家族に対する精神的なサポートも大切にしています。また、狭心症や心筋梗塞は、急性期看護とともに、食事指導や生活指導などの看護も求められます。患者さまとのコミュニケーションを大切に、他職種のスタッフとも情報を共有しながら、患者さま一人ひとりの生活にあった効果的な指導ができるよう心がけています。

### CCUでは専任スタッフが24時間体制で対応。

病棟に併設されているCCUは、急性心筋梗塞や狭心症などの重症患者さまを集中的に治療する部門。高度な知識・技術をもった専任の看護師7名が、24時間体制で医師や他のスタッフ



ペースメーカー、人工呼吸器などを完備したCCU。嚴重な病態把握と監視モニターのもと、高度専門医療を駆使しながら患者さまの治療にあたっています。

と協力しながら、異常の早期発見・予防に努めています。同時に、自由に身動きができない、意識のない患者さまの心理状態を思いやり、不安をできるだけ軽減できるように援助しています。

### 循環器看護のエキスパートをめざし、日々頑張っています。

西7階病棟の自慢は、なんといってもスタッフのチームワークがよく、みんな楽しんで仕事をしていること。その明るい雰囲気は患者さまへのよりよい看護につながっていると自負しています。また、患者さまにさらに質の高い看護を提供するために、定期的に勉強会を開いたり、研修会や学会に参加するなど、循環器領域の看護に必要な専門的知識と技術の修得にも努めています。そんな私たちの一番の喜びは、患者さまやご家族からかけていただく「ありがとう」の言葉。つい最近も、心疾患でご主人を亡くされた奥さまから「入院中はいつも励ましていただき、悲しみより感謝の気持ちでいっぱいです」と言っていただき、何とも言えない感動がこみ上げてきました。これからも、チームワークを大切にしながら研鑽を積み、安全・安心の看護を提供できるよう頑張ります。



## 扁桃炎と手術

耳鼻咽喉科部長 永井 裕之

専門分野：耳鼻咽喉科全般  
認定資格：日本耳鼻咽喉科学会  
専門医・補聴器相談医  
所属学会：日本耳鼻咽喉科学会



肌寒い季節になると、風邪をこじらせて扁桃炎になる方が増えてきます。通常の扁桃炎であれば抗生物質の内服や点滴で治癒しますが、扁桃周囲膿瘍といって、片方の扁桃腺が腫れて周囲に膿みだまりを作ってしまうと、穿孔や切開によって膿を出さなければ治らなくなってしまうことがあります。片方だけノドが痛くなり、口が開きにくくなったり、痛みで自分の唾液も飲み込めないようでしたら扁桃周囲膿瘍を疑う必要があります。また同じ様にノドのひどい痛みで、飲んだり食べたりできなくなる病気に急性喉頭蓋炎があります。扁桃炎のときに通常腫れるのは口蓋扁桃といって、口をあけて口蓋垂(いわゆるノドチンコ)の両外側の表面にブツブツと穴のあいた出っ張り部分ですが、さらにその奥の舌の下側でノド仏の裏のあたりに、喉頭蓋という靴べらの様なかたち

をした、気管にふたをする役割の臓器があります。まれにこの部分が風邪が悪化して腫れてくることがあり、ひどくなると窒息する恐れがあります。このような、風邪症状でノドに強い痛みを感じる場合は、耳鼻咽喉科にも受診したほうが良いでしょう。何十年か昔は、子供の頃扁桃腺が肥大していると、それだけで手術して口蓋扁桃をとっていた時代があったそうです。現代の考え方としては、①1年間に4~5回以上高熱の出る急性扁桃炎を繰り返す場合②扁桃腺が腎臓病(IgA腎症)や皮膚病(掌蹠膿疱症)の原因になっている場合③扁桃周囲膿瘍になった場合④扁桃腺が肥大して睡眠時無呼吸症を生じている場合などに扁桃腺手術を勧めます。これらに当てはまらなくても、症状によって手術を勧める場合もありますので、詳しくは耳鼻咽喉科に受診してご相談ください。



稲山管理栄養士が  
お届けする

体にeヘルシーレシピ

## 大根と鶏肉の洋風マスタード煮

1人前  
262 kcal

<材料・2人前>

- ・大根 …… 約15cm(約450g)
- ・鶏もも肉 …… 1枚(約250g)
- ・おろしにんにく …… 大さじ1
- ・塩、こしょう …… 少々
- ・砂糖 …… 大さじ1
- ・塩 …… 小さじ1/2
- ・こしょう …… 適量
- ・粒マスタード …… 大さじ1
- ・バター …… 大さじ1
- ・サラダ油 …… 適量
- ・塩、こしょう …… 適量
- ・ねぎ(緑色の部分) …… 適量

<作り方>

- ①大根は皮をむき、厚さ3~4cmの半月切にして、面取りをする。
- ②鶏肉は一口大に切り、すりおろしにんにく、塩、こしょうを振って下味をつける。
- ③なべに①の大根をいれて水をひたひたに入れ、強火にかける。沸騰したら弱火にしてAを加え、コトコト煮込む。
- ④③の煮汁が半分くらいになり、大根がやわらかくになったらバターを加える。
- ⑤その間に、フライパンにサラダ油を入れて熱し、(鶏肉はしばらく煮込むので、ここで火を通しすぎない)②の鶏肉を両面よく焼き炒め④の鍋に入れてさらに煮込む。
- ⑥⑤の煮汁がほとんどなくなってきたら、塩、こしょうで味をととのえ、粒マスタードを加えて全体にからめる。
- ⑦器に盛って、ねぎを散らして完成。

### ！ここがヘルシーポイント！

大根は春から夏にかけてはやや辛味が増しますが、これからの季節の秋から冬にかけては甘みが増します。体を温め

る作用があるねぎや、マスタード等の食材の利用もこれから寒くなる季節にむけておすすめです。

## くすりのお話し



### ステロイド外用剤を正しく使おう。

ステロイドは、副作用が心配で使いたくないという患者さまは多いのではないのでしょうか?一度使うとやめられなくなる、皮膚が黒くなるといったことを聞いたことはありませんか?皮膚に塗るステロイド外用剤は局所的に作用するため、飲み薬で全身に投与したときに起こるような副作用はありません。しかし、ステロイド外用剤を不規則に使ったり、十分量使用しなかったりすると皮膚の炎症が残ってしまい、皮膚が黒くなることはあります。長期間使い続けた場合、皮膚が薄くなったり、血管が浮き出たりすることもありますので、適切に利用して短期間でしっかりと炎症を抑えることが大切です。

ステロイド外用剤はその抗炎症効果の強さによって、ストロングゲスト(最も強い)、ベリーストロング(かなり強い)、ストロング(やや強い)、ミディアム(普通)、ウィーク(弱い)の5段階に分類されます。使用部位によって吸収率が異なり、腕の肘から先を1とした場合、手のひらは0.83倍、足の裏は0.14倍ですが、皮膚の薄い頬では13倍にもなります。そのため、副作用の出やすい顔にストロング以上を用いる場合は、可能なら、1~2週間以内に留めるようにしましょう。疾患の種類や症状の程度、使用部位、年齢などを総合的に考慮し、適切なステロイド外用剤を選択することが望まれます。